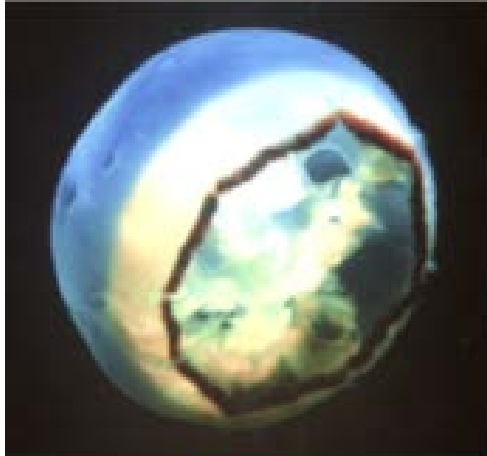
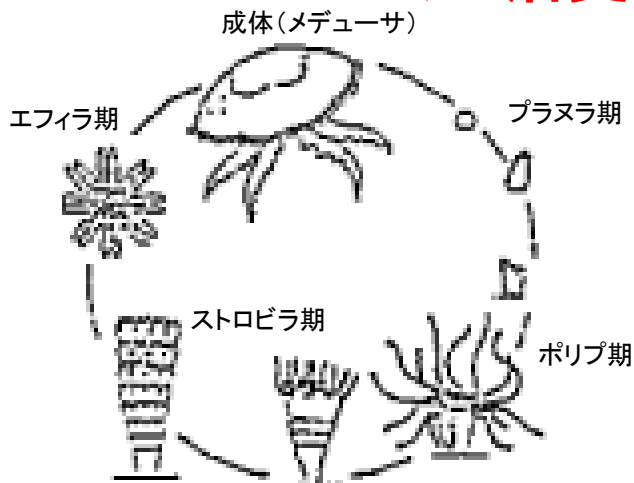


# キタミズクラゲの生態



- 学名：*Aurelia limbata*
- 最大傘径：約30cm程度
- 水温：10℃程度で成長・成熟可能  
(20℃以上で生存不可能)
- 生息場所：東北沿岸から北海道太平洋沿岸、日本海北部、オホーツク海、ベーリング海で出現が確認。表層から深海に至るまで生息域。
- 特徴：周縁部が茶色に着色。放射管は網目状に分岐。

## <生活史及び日本周辺分布>



# キタミズクラゲによる漁業被害

直接的な被害：漁網の破損、目詰まり等

間接的な被害：漁獲物の劣化、作業時間増大による労働負荷増



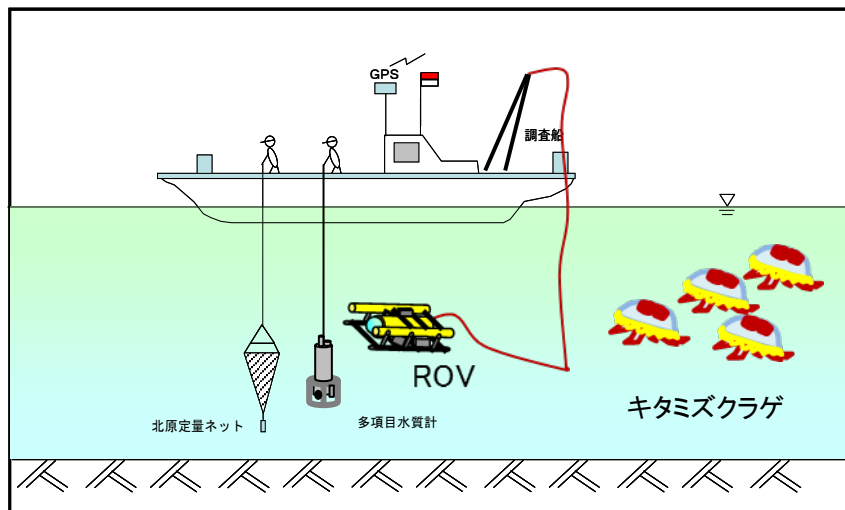
定置網に大量入網したキタミズクラゲ



キタミズクラゲによる漁網の目詰まりと  
漁獲物の劣化

# キタミズクラゲの生態および出現調査

キタミズクラゲの効果的な駆除に必要なとなる、生態情報や生息環境、出現状況把握のための調査



調査船による分布調査イメージ



水中カメラ(ROV)調査時に撮影したキタミズクラゲ

# キタミズクラゲによる漁業被害防止対策

タモ網や駆除ポンプを利用して、漁業者が洋上駆除を実施



タモ網による人力作業で  
網外に放出



駆除ポンプ本体  
吸い込み部と破碎部



ポンプ内部で破碎後、  
網外に放出

駆除ポンプを用いた駆除